

「ガーデニング検定」もうすぐです

笠 康三郎

札幌商工会議所から、ガーデニングの検定をやりたいのでぜひ協力してほしいとの話があり、思わず耳を疑ってしまいました。なぜなら、ガーデニングはまさに趣味の世界であり、試験になじむものなのか？と思ったからです。何回かのやりとりがあり、ガーデニングの基礎となる園芸や造園の技術については、意外と正確な知識が定着しないままになっているので、試験を通じてそれらを学ぶ機会としたい。試験用の公式テキストについては、北海道に適用できる最高レベルの園芸書として作成する。ということで、2009年(平成21年)1月にテキストの出版と、3月に第1回目の試験にこぎ着けました。

試験対策直前講座を行ったところ、なんと400名近くの方が集まりました。札幌商工会議所が行う試験ですから、札幌近郊の方を想定していたのですが、2割近くが道東道北道南方面からの参加者というのも意外でした。ガーデニングなんて単に趣味の世界だと思っていたのは大きな認識不足で、みなさんはきちんとした知識を身につけた上で、植物を健全に栽培し、誰よりも美しく飾りたいのだということが分かったのです。

第1回の試験では、受験者527名、合格率は50.5%という成績でした。試験のとりまとめの責任者でしたので、正直どのくらいの合格率になるのか、とても心配していたのですが、いいところに落ち着いたのかなと思ったものです。合格者には「北海道ガーデニングマイスター」の称号とロゴマークの使用が認められます。普段堅苦しい名刺をお使いでしょうから、試験を突破してこんなロゴを入れるのも面白いと思います。



初めのやりとりの中では、商工会議所が行う試験

なので、会員である園芸店やホームセンターなどで販売に当たっている人達に必ず受けてもらい、マイスターのいる店を売り物にしてほしいということをお願いしました。というのは、最近の園芸店で、しっかりとした知識を身につけ、園芸相談に応じられるレベルの人がいる店が、あまりにも少ないという実態があります。業としてやっている人達よりも、趣味でやっている人達の方がセンスもよく、知識も豊富になってきているのが最近の傾向であり、業界としてもっと危機感を持ってほしいと思っていました。現在でもそのような動きはあまり見られず、とても残念に思っています。

第2回目の合格率は57.4%でしたが、第3回目では27.2%と急落しました。正直今回は易しすぎるのではないかと、思っていただけにびっくりな結果でしたが、本当に試験問題を作成するのは難しいものです。

なお、初版のテキストが売り切れてしまい、より見やすく使いやすい内容への改訂が行われ、1月中には書店に出回ることになっています。会員の方は、試験はもう受けたくない！という人ばかりでしょうが、北国向けの園芸書として家庭に一冊備えておき、リフレッシュに活用していただきたいものです。

第4回目の試験については、札幌商工会議所のホームページに各種検定試験情報のバナーがありますので、そちらから確認して下さい。

笠 康三郎 (りゅう こうざぶろう)
技術士(建設/環境/総合技術監理部門)

有限会社 緑花計画
(連絡先: 011-631-3668)

